マルチメディア振興センターが刊行した自主研究事業の成果報告書「日本でコード・カッティングは起こっているのか?∴全国アンケート調査結果からの考察」（執筆者=ICTリサーチ&コンサルティング部・米谷南海リサーチャー）では、活性化する有料オンライン動画配信（Over the Top Video=以下OTT-V）サービスのCATV多チャンネルサービスへの影響などについて調査。「予備調査」では全国18-79歳男女計3万7667人を対象に全体像を把握し、「本調査」では計2000人を5つの視聴者グループに分け、その実態についてまとめている。前号から引き続き、同報告書の主要部分を抜粋し、概要を掲載する。

マルチメディア振興センターが報告書

コード・カッティング 日本の実情 2

「引っ越し」が最も多い解約理由

米国とは異なる利用状況

CATV／動画視聴の使い分けも

◆CATV多チャンネルサービスに契約している視聴者グループのサービス契約状況

コード・ロイヤリストとコード・カップラーは、多チャンネルサービスのみ、あるいはトリプルプレイ・サービス（多チャンネル、インターネット、電話）に契約している人が多かった。それに対し、コード・シェイバーは多チャンネルサービスとケーブルインターネットの2つを利用している人が多い。

契約年数は、コード・ロイヤリストは比較的長いが、コード・シェイバーは58・8%が5年以下となっている。月額料金は、コード・ロイヤリストの50・1%、コード・カップラーの44・1%がそれぞれ6000円以上を支払っているが、コード・シェイバーで6000円以上を支払っているのは28・5%にとどまる。

CATV多チャンネルサービス契約理由は、いずれの視聴者グループでも「魅力的なプラン・キャンペーンがあった」が最も多く、2番目は「見たいコンテンツがあった」だった。ただし、「地域情報が充実していた」を選択したコード・シェイバーの割合は他グループの約6倍に上っている。

CATV多チャンネルサービス解約の可能性については、「可能性がある」「やや可能性がある」と回答したのは、コード・ロイヤリストとコード・カップラーでは、いずれも25%前後だったが、コード・シェイバーは54・3%であった。コード・シェイバーは有料OTT-Vサービスへ乗り換える可能性が十分にあるといえる。

コード・ロイヤリストが有料OTT-Vサービスに契約していない理由としては、「現状に満足している」が41・0%で最も多く、以降、「料金への不満」（22・0%）、「見たい番組やチャンネルがない」（21・0%）、「よく知らない」（12・8%）と続く。

また、今後有料OTT-Vサービスに契約する可能性については、「可能性がある」「やや可能性がある」と答えたのは9・8%で、71・3%が「可能性はない」「あまり可能性はない」と回答した。

コード・カッターがCATV多チャンネルサービスを解約した理由については、最も回答数が多かったのは「引っ越し」、2番目に多かったのは「料金への不満」であった。

「引っ越し」と回答した狭義コード・カッターの移転先のうち、92・0%に1つ以上のCATV局があったため、CATV多チャンネルサービスに再契約できる環境にあったとしても、実際にそうする人は少ないようである。

◆有料OTT-Vサービスに契約している視聴者グループのサービス契約状況

コード・カップラー、コード・シェイバー、コード・カッター、コード・ネバーが現在契約している有料OTT-Vサービスの数は「1サービス」のみがほとんどだが、コード・シェイバーは複数のサービスに契約している人の割合が他の視聴者グループよりも高い。コード・シェイバーの24・8%が「2サービス」、10・5%が「3サービス」、7・2%が「4サービス以上」に契約している。

メインユースしている有料OTT-Vサービスとしては、いずれの視聴者グループにおいても「Amazon Prime Video」が多く、Amazon Prime（会員制／通販の無料配送に加え、特典の1つとして追加料金なしでビデオ視聴が可能）に登録している人が多いのではないかと推察される。

メインユースしている有料OTT-Vサービスへの契約理由としては、価格とコンテンツの両面が重視されているが、コード・カッターとコード・ネバーはコンテンツ面を重視する度合いが若干強いようである。

同サービスに支払っている月額料金では、コード・シェイバーが他の視聴者グループよりも高い料金を支払う傾向にある。コード・カップラー、コード・カッター、コード・ネバーの30-45%が「～500円」のサービスを利用しているのに対し、コード・シェイバーで「～500円」のサービスに契約しているのは18・0%にとどまる。同グループの29・3%は「501～1000円」、20・0%は「1001～1500円」の月額料金を支払っている。

有料OTT-Vサービスに契約している視聴者グループのうち、コード・ネバーに注目すると、CATV多チャンネルサービスを契約してない理由としては「現状に満足している」（43・3%）が最も多く、「料金への不満」（19・3%）が次点。「視聴環境がない」と回答した3・3%はテレビ受像機を所有していない人と予想される。今後、同サービスを契約する可能性は低いようで、「可能性はない」が39・9%、「あまり可能性はない」が25・5%という割合だった。

◆各視聴者グループの視聴慣習

最も視聴する放送番組や動画のジャンルは、CATV多チャンネルサービスでは「ニュース」と「スポーツ」が、有料OTT-Vサービスでは「映画（洋画）」や「海外ドラマ」がよく視聴されており、これについて視聴者グループ間で大きな差異は見られなかった。

ただし、コード・ネバーは他グループと比べると有料OTT-Vサービスで「アニメ」を視聴している割合が高く、その背景には同グループの年齢層が若いことがあると考えられる。また、コード・シェイバーについては、特定のジャンルのみ視聴するというよりも、比較的多くのジャンルを満遍なく視聴しているという傾向がある。

視聴シーンに関しては、CATV多チャンネルサービスと有料OTT-Vサービス、あるいは各視聴者グループ間で違いが出ず、共通して「リビングなどでくつろいでいる時の割合が最も高く、2番目に割合が高いのは「就寝前」だった。特徴があるとすれば、CATV多チャンネルサービスは食事中に、有料OTT-Vサービスは移動中や入浴中、トイレ中に視聴されていることが挙げられる。

◆リサーチクエスチョンへの回答

《Q1》日本ではコード・カッティングが起こっているのか

日本では米国とは異なり、コード・カッティングはほとんど起こっていない。コード・カッターは、予備調査回答者の1・1%、あるいはCATV多チャンネルサービスへの契約経験がある視聴者グループの5・9%に過ぎない。

コード・カッターのCATV多チャンネルサービスの解約理由で、最も割合が高いのは「引っ越し」。「有料OTT-Vサービスへの移行」を解約理由としたのは、コード・カッターで8・0%、狭義コード・カッターで15・3%だった。

《Q2》日本におけるCATV多チャンネルサービスおよび有料OTT-Vサービスの利用状況にはどのような特徴があるのか

最も特徴的な視聴グループとして、コード・シェイバーが挙げられる。コード・シェイバーは30代を中心に構成されており、世帯年収も高い傾向にあるため、比較的デジタルスキルがあると予想される。

同グループは、CATV多チャンネルサービスを安価なものに契約変更しつつ、月額料金が高めの有料OTT-Vサービスに複数契約し、多様なデバイスを用いて多様なジャンルの放送番組や動画を視聴するなど、サービスの使い分けを試みている先進的な視聴者グループであると考えられる。

この結果を踏まえると、日本のコード・カッティングは「引っ越し」という受動的な理由が多く、米国のように有料OTT-Vサービスへの積極的な乗り換えがされているわけではないようである。

各視聴者グループのCATV多チャンネルサービス契約理由

最も大きな理由	コード ロイヤリスト	コード カップラー	コード シェイバー
見たいコンテンツがあった	15.5%	23.0%	13.0%
地域情報が充実していた	2.3%	1.8%	12.3%
魅力的なプラン・キャンペーンがあった	21.6%	24.3%	34.8%
納得のいく料金だった	9.5%	8.8%	11.3%
家族構成・生活環境が変わった	8.5%	9.3%	6.5%
事業者や家電量販店で営業を受けた	13.3%	10.1%	6.3%
サポート体制がしっかりしていた	0.8%	0.5%	1.0%
申し込み方法がわかりやすかった	5.5%	2.8%	4.3%
集合住宅等の共同設備で視聴できた	12.3%	11.3%	5.8%
地元事業者で安心感があった	3.3%	2.3%	2.8%
その他	7.8%	6.3%	2.3%

◆視聴者グループの分類

【コード・ロイヤリスト】
CATV多chサービスに契約しているが、有料OTT-Vサービスには契約していない

【コード・カップラー】
CATV多chサービスと有料OTT-Vサービスの両方に契約している

【コード・シェイバー】
CATV多chサービスと有料OTT-Vサービスの両方に契約しており、かつ有料OTT-Vサービス契約時にCATV多chサービスのプランを安価なものに変更した

【コード・カッター】
過去にCATV多chサービスに契約していたが、有料OTT-Vサービスに契約する際に解約した（CATV多ch解約年と有料OTT-V契約年の時差が1年以内の場合は「狭義コード・カッター」とする）

【コード・ネバー】
一度もCATV多chサービスに契約したことがなく、かつ現在有料OTT-Vサービスに契約している